

## 曲目説明

(Wikipedia 等関連諸サイトの引用・編集を含む)

### 「アンパンマンのマーチ」、「いい日旅立ち」、「草野球の歌」および「遠くで汽笛を聞きながら」

**〔アンパンマンのマーチ〕** (やなせたかし作詩、三木たかし作曲、宮島将郎編曲/アカペラコーラスグループ「アリババと 15 人の盗賊」用に編曲されたもの)

「アンパンマンのマーチ」は、やなせたかしの絵本『アンパンマン』(1973年～)を原作としたテレビアニメ『それいけ!アンパンマン』のオープニングソングである。アニメは1988年以来日本テレビ系列で放送されており、レギュラー放送1000回を超えている。また劇場版映画も作られている。

アニメのストーリーは、手を替え品を替え悪事を行うバイキンマンに対して、アンパンマンが苦戦しながらも最後はやつつけて子どもや大人たちを助ける、というのが基本パターン。子ども達に絶大な人気のあるアニメだが、「アンパンマンのマーチ」の歌詞には大人がドキッとするような言葉もちりばめられている。

これに関連し、原作者のやなせたかしが、最近の朝日新聞にアンパンマンについての思いを述べている。

・「逆転しない正義は、飢えている人を助けることなんじゃないか。」「武器を持たないアンパンマンは飢えた子どもに自分の顔を食べさせます。それが僕の考える正義なんですわね」

「大人になって初めて分かることがある...、だから僕は...『何のために生まれて、何をして生きるのか』という哲学的な歌詞を入れた。」(2011.2.3)

・「当時はやっていたスーパーマンは僕から見るとどうもうそくさい。飢えている人がいるのに。正義ってまずひもじい人を助けることじゃないか。だから、中年のおじさんがマントで飛びながら、アンパンを配る漫画にしました。」「正義は自分が傷つくことを覚悟しないとできない。今では子どもに人気のアンパンマンですが、最初は大人のための苦いお話だったのです。」(2011.3.8)

**〔いい日旅立ち〕** (谷村新司作詩・作曲、山室紘一編曲)

1978年11月にリリースされた山口百恵の24枚目のシングル。同時に開始された国鉄による「いい日旅立ち」キャンペーンのキャンペーンソングとして使われた。同曲の大ヒットで百恵自身の代表曲の一つに挙げられ、谷村新司の代表作の一つともなった。

別れを連想させる描写と共に、一人旅の情景と心理を歌った情緒的な作品。曲のタイトルから結婚式等の祝いの席や、卒業式等の旅立ちの席で歌われることも多い。

2007年には「日本の歌百選」に選ばれている。(「日本の歌百選」は、日本の文化庁と日本PTA全国協議会が、親子で長く歌い継いでほしい童謡・唱歌や歌謡曲等101曲を選定したもの。)

**〔草野球の歌〕** (宮島将郎作詩・作曲)

「アリババと15人の盗賊」の演奏会用に作られた曲。(ちなみに、第7回定演で演奏した「女房への手紙」もアリババ用に宮島氏が作詩・作曲したもの)

**〔遠くで汽笛を聞きながら〕** (谷村新司作詩、堀内孝雄作曲、吉岡弘行編曲)

「遠くで汽笛を聞きながら」は、アリス(谷村新司、堀内孝雄、矢沢透)のシングルとして1976年9月にリリースされた。発売当初は伸び悩んだが、現在ではアリスを代表する作品の一つ。

一人の若者の悩み、孤独感とともに、「自分の言葉に嘘はつくまい、ひとを裏切るまい」という言葉に見られるように、前向きに生きていこうとする決意の気持ちが歌われている。

1996年の第47回NHK紅白歌合戦では、ソロとして出演した堀内孝雄が歌唱しており、2005年の第56回NHK紅白歌合戦では、再始動したアリスによって演奏された。

(文責 後藤/2011.3)